



発行
 岩手県宮古市宮町二丁目1の1
宮古高等学校同窓会
 事務局 (62) 1812・(62) 2544

ご挨拶

「全同窓生の皆様のご理解とご協力を」



岩手県立宮古高等学校
 同窓会長 **長門 孝 則**

同窓生の皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。さて、本校は今年で創立九十五周年を迎えました。これまで約二万八千名を超える同窓生を送り出し、国内外にて大きな足跡を残されました諸先輩は枚挙に暇がありません。

この九十五年という長い歴史と伝統をもつ本校は、現在も県内有数の進学校として実績をあげ、また、部活動でも多くのクラブが全国大会に出場するなど、文武両道に邁進しております。しかしながら、生徒数は多い時に比べ約半分となり、PTAのクラブ遠征費補助も縮小されております。また、在校生から徴収して運営している同窓会費会計も逼迫しておりますが、震災以降の地域の現状を考えますと値上げにも限界があり、今こそ同窓生で母校生徒の活動を支援していく必要があると考えております。

今年度の同窓会総会において、同窓生の皆様方に伏してご理解を賜り、全同窓会員の方々に広くご協力をお願いすることのご承認を頂き、このたびの会報発送に至りました。

永い歴史と伝統を誇る我が母校が、生徒の活躍によってますます輝きを増し、来る創立百周年に向けて同窓会の活動がさらに活発となるよう、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



同窓会活動協力金のお願い

現在の同窓会活動は、在校生から徴収する同窓会費で運営しております。しかしながら、生徒数の減少で、同窓会会計は逼迫した状況に陥っています。従来の在校生に頼った同窓会運営では同窓会活動の衰退が懸念されます。

また母校で、毎年多くのクラブが全国大会や東北大会に出場し、学校の活性化に大きく貢献しておりますが、こちらも生徒数の減少によりPTA遠征費会計も年々厳しいものになっており、今こそ同窓会で母校生徒を支援していく必要があると考えられます。

そこで、今後は全国の同窓生の皆様方から同窓会活動協力金(年会費)のご協力をいただき、同窓会活動の充実をはかるとともに、母校の生徒の活動支援をおこなうこととなりました。

今回お寄せいただいた協力金は、以下の費用に充てる予定です。

- ① 全同窓会員への同窓会報の発送および充実した同窓会活動を運営する費用。
- ② 在校生の学業や部活動、その他学校の活性化および人材育成に資する活動全般への支援。

母校ならびに地域の発展のため、同窓生の皆様のご協力を何とぞ宜しくお願いいたします。

※今回の同窓会報発送事業は㈱サラトと協力して進めております。約一万九千人の全同窓会員に会報等を発送するのに、約二三〇万円の経費がかかります。

なお、この同窓会活動協力金は、創立百周年記念事業のための寄付を募るものではありません。



天行健なり

校長 八木浩之

平日頃より、本校教育活動に多大なる御支援、御協力を頂いている同窓会の皆様に対しまして、心より御礼申し上げます。

私は、昨年度本校に赴任いたしました。宮古高等学校三〇回生(昭和五十三年度卒業)です。昭和六十二年度から平成十年度までの十二年間、宮古高校に勤務しておりました。その間、平成二年度と平成十年度のラグビー部花園出場の際には、全国の同窓会の方々から絶大なる御支援をいただきました。この紙面をお借りし、改めて心から感謝申し上げます。

歴史と伝統を誇る母校、宮古高校に勤務することは身に余る光栄であるとともに、課せられた責任の重大さを自覚し、精一杯鋭意努力をする所存です。微力ではございますが、百周年を目前とする本校の発展に寄与できるよう精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、「天行健なり」の校訓のもと、生徒が文武両道に取り組み努力し続ける姿は、宮古高校の伝統であります。その伝統は現在も継承され、生徒も教職員も部活動、生徒会、学習に真摯に取り組んでいます。

この春の卒業生の進路は、国公

立大学に八十四名合格、目指す私立大学、専門学校等にも数多く進学するとともに、医学部をはじめ難関大学などに進む生徒もおり、各自の希望する進路を達成しております。

また、先日の県高校総合体育大会では、宮古高校伝統の「臍脂(エンジ)の魂」を感じる素晴らしい戦いを繰り広げました。運動部では、ヨット部とボート部がインターハイの出場を決めております。文化部では、吹奏楽部と放送部が八月の全国高校総合文化祭への出場を決めております。吹奏楽部は創部以来初の全国大会出場となります。各運動部、文化部とも活躍が著しく、県下トップレベルにあります。

このように、進路実績や部活動の様子を見ても、宮古高校は「沿岸の雄」として大活躍しております。文武に活躍する宮古高校ですが、本校は、東日本大震災以来地域の人口減も進む中、平成二十六年度より定員(学年六クラス)を下回る生徒数で推移しております。現在は、学年四十人六クラス

の定員で全校七二〇人の定員ですが、平成三十年度の生徒数は六一六名となっております。部活

動が活発な本校は、全国大会、東北大会をはじめ大会派遣する数が相当数に上りますが、生徒数減により、PTAの関係経費等が予算を逼迫し厳しい現状にあります。

このような中、同窓会が宮古高校の更なる活性化を図るために、同窓生の方々に協力をお願いするとうお話しを頂きました。学校としては、非常に心強く思っております。改めまして感謝致します。

このような支援により、今後とも部活動の活性化に加え、国際交流事業や進路に向けた事業などの人材育成事業を進めることができ、創立百周年に向かう宮古高校の生徒が大きく飛躍できる環境が整うのではないかと期待しているところで

このような取組の中で、宮古高校がさらに輝きを増し、同窓生の方々が母校に誇りを持つようになり、生徒、職員一体となって精進して参りますので、これからも更なる御支援と御協力をお願いし、あいさついたします。

部顧問から

Lawの精神

ラグビー部監督 金丸 健

「より良い選手がより良いオールブラックスを形成する」

by ニュージランド

ラグビーの格言

来年度開催される2019ラグビーワールドカップ日本大会に向けての準備がやっと動き出してきたと感じる。宮古市もその公認キャンプ地に決定した。どの国のチームがキャンプ地として訪れてくれるのか楽しみな所である。

宮古高校ラグビー部は一九四六年に創部され、二年前に創部七十年を迎えることが出来た。花園には過去二度出場している。最後の花園は今から二十年前であり、その時の監督は現在宮古高校校長である八木浩之先生である。また、現在、ラグビー部は岩手県から強化拠点校に指定されている。

ラグビーは一チーム十五人で形成され、集団スポーツとして最も人数が必要とされる競技である。コンタクト(接触)もあり、一歩間違えばただのケンカになりかねない。よって、自らルールを守ることが良しとされている。その精神をラグビー界では「Lawの精神」と呼んでいる。「Lawとは法律という意味であり、自ら法律を積極的に適用させ、自分をコントロールしていこうということである。ペナライズされることは恥ずべきことであり、ルールの裏をかいて見

つからなければよいという考えはラグビーの本質から外れることである。意図的にペナルティを犯すなどは許されない。実際にラグビー競技にはルールブックというものは存在しない。「Law of the Game」が存在するだけである。本校ラグビー部としても、本当の意味での「Lawの精神」を目指していく。出来ないことも多々あるが、失敗を重ねながらも理想に向かい進んでいきたい。

また、創部七十二年を数える歴史の中で本校ラグビー部は数ある名選手を輩出してきた。過去には日本代表(フル代表)が二名いる。一人は、私の同級生である山内智一。現在は、大東文化大学ラグビー部でプロコーチとして活躍している。彼が着任してから大東文化大は成績が急上昇していて、昨年は関東大学リーグ戦で優勝した。これは、彼の功績によるものだろう。もう一人がトップリーグのクボタスピアーズに在籍していた私の2歳下の山口貴豊である。彼は、今夏の校内合宿においてスポットコーチとして来てくれることになっている。余談であるが、ラグビー界では日本代表出場数を「キャップ」と呼ぶ。一試合出場すれば一キャップ、二試合出場すれば二キャップである。山口は国際試合に二試合出場し、実際にキャップ「帽子」を二つ授与されている。二名の他にも大学ラグビー、社会



人ラグビーなど全国各地で活躍している。また、地元の釜石シーウェイブスには選手・スタッフとして四名在籍している。

時代なのか、様々な生徒がラグビー部に入部してくるようになってきた。生徒一人ひとりに合わせた対応が指導者側に求められている。部活動を通じて、より良い人間を育てながらより良い宮古高校ラグビー部を形成していくこと。大きく言えばこれが指導者としての目的と言える。今後も、精進を重ねていきますので、変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

宮古高校にしかない音楽を

吹奏楽部顧問 佐藤 允治
昨年度、本校吹奏楽部は吹奏楽コンクール岩手県大会で第一位を獲得し、今年度長野県松本市で開催される「全国高等学校総合文化祭吹奏楽部門」に岩手県代表として出場することとなりました。これも同窓会をはじめ、多くの方の支援のおかげだと感じているところです。この場を借りて感謝申し上げます。

さて、今年度本校吹奏楽部は自由曲に『歌劇「トウランドット」』を選曲しました。私たちにとって新しいジャンルの曲であり、挑戦の年となりました。「トウランドット」は、曲の変化がめまぐるしく様々な表情を持つ曲です。トウランドット姫の喜怒哀楽やそれを取りまく人々の心情を、どう音色で表現するかが私たちの課題です。

高文祭では、自由曲に選んだこの『歌劇「トウランドット」』と私たちのテーマ曲でもある「宝島」を演奏します。宮古の明るさと、ひたむきに音楽に取り組む姿勢を全国の方々に見ていただければ、精一杯演奏してきたいと思っています。応援よろしくお願いいたします。

インターハイへの抱負

ヨット部

男子 山根 茉弘

ヨット部男子は男子420級、男子レーザージャギアル級でインターハイに出場します。練習では、平日はボートスピードを上げることに力を入れ、土日の二日間はスタート練習やレース練習で戦術や戦略を考えて艇を走らせることを繰り返して自分たちのレベルを上げてきました。インターハイ入賞という目標を達成するため残りの期間、時間を大切に日々の練習に取り組みたいと思います。三年間の集大成となるような悔いのないレースをしてきます。応援よろしくお祈りします。

女子 佐々木 茜梨

私たちは、和歌山県で行われるインターハイに420級で出場します。これまでの自分たちの課題を潰し、少しでも早く艇を走らせるように意識し練習に取り組み

んできました。本番のレースでは、今まで練習してきたことが発揮できるように、三年間の集大成となるようなレースをしてきます。また、毎日指導してくださったコーチや先生方、これまで支えてくださった方々に感謝し、最後まで諦めずに頑張ります。



ボート部

女子 村上 詩織



ボート部は、七月二十九日から愛知県で行われるインターハイに女子舵手付クオドルプル、ダブルスカル、シングルスカルの種目で出場してきます。

私達は、これまで「インターハイ入賞」を目標に仲間と共に切磋琢磨してきました。ボートという競技を通して、最高の仲間に出会いました。楽しいことだけではなく、どんなに辛い練習や大会での悔しさも、支え合い共に乗り越えてきました。そして、私達にはその仲間達と沢山ボートを漕ぐことの出来る環境がありました。それは、忙しい中時間を割いて救助艇を出しご指導してくださった先生方や、ボート部の伝統を繋いでくださった先輩方の存在、立派な艇やオールなどの道具を使用させていただく事が出来たからです。インターハイ本番では、これま

で支えていただいた方々、応援してくださった方への感謝を伝えられるような、価値ある最高のレースをしてきます。



全国大会への抱負

吹奏楽部

部長 渡辺 美乃里

私たち吹奏楽部は、昨年度行われた全日本吹奏楽コンクール岩手県大会で一位金賞を受賞することができました。それにより、八月九、十日に長野県で行われる全国高等学校総合文化祭に出場してきます。宮古高校吹奏楽部としては初めてのことであり、全国の舞台で演奏できる機会はめったにありません。そのような貴重な体験ができるということを実感し、日々の練習に励んでいます。

全国高等学校総合文化祭で演奏する曲は「歌劇 トウランドット」と「宝島」の二曲です。トウ



ランドットでは、聞いてくださる方が私たちの世界に入り込めるよう、宝島では宮古高校のサウンドを会場中に響かせられるように頑張ります。

全国の舞台で演奏できるということを楽しみ、聞いてくださる方々の心に響くような演奏ができるよう十二分間精一杯演奏してきます。

放送部

部長 山口 優羽香

私たち放送部は七月二十三日から二十六日に東京で行われるNHK杯全国高校放送コンテストと、八月九日から十日に長野県で行われる全国高総文祭信州総文に出場してきます。

NHK杯には、三年生の小坂さんと須藤晃司先生を取材したアナウンス部門の二人と、卓球部の須藤麻友さんを取材したラジオドキュメント部門、アイドルを応援する女の子の葛藤を描いたラジオドラマ部門、もうひとりの自分に生活をのっとられていく様子を描いたテレビドラマ部門が出場します。信州総文には、「銀河鉄道の父」を題材に選んだ朗読部門、日本屈指のフレイムビルダー盛合さんを取材したビデオメッセージ部門が

出場します。取材に協力してくださった方々、活動を支えてくださった先生方、保護者の方々への感謝を忘れずに、一回でも多く勝ち進めるように頑張ります。応援よろしくお祈りします。



結果報告

平成30年度(前期)

第70回岩手県高等学校総合体育大会

○ラグビー 15人制Aブロック

第3位 東北大会出場

○陸上競技

男子3000mSC 第7位

男子800m 第6位

女子砲丸投 第4位 東北大会出場

女子走高跳 第6位 東北大会出場

男子 個人戦 男子 ベスト8

女子 個人戦 男子 60kg級 第3位 東北大会出場

女子 66kg級 ベスト8

女子 52kg級 ベスト8

女子 70kg級 第3位

○卓球

男子団体 第3位

女子団体 ベスト8

女子ダブルス 第5位 東北大会出場

シングルス 第11位 東北大会出場

シングルス 第12位 東北大会出場

○剣道

男子団体 ベスト8

女子団体 ベスト8

○空手道

男子団体 ベスト8

女子団体 ベスト8

個人組手 第5位 東北大会出場

準優勝 東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

東北大会出場

○ヨット

男子420級 優勝

女子420級 第2位

男子レーザーラジアル級 優勝

男子コンバインド 優勝

女子コンバインド 第2位

○ボート

男子 舵手付クオドルプル 第3位 東北大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

女子 舵手付クオドルプル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

シングルスカル 優勝 全国大会出場

シングルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

ダブルスカル 優勝 全国大会出場

ダブルスカル 第2位 東北大会出場

東京同窓会報告

平成三十年五月十三日(日)、千代田区のアルカディア市ヶ谷において、長門孝則同窓会長、八木浩之校長先生はじめ九名の来賓をお迎えし、平成三十年度東京同窓会を開催いたしました。開催に向けて同窓生への案内は、前回案内をした方々の中で、返信が届いた約九百名の方へ案内状を送り出席者を募りました。幹事全員の尽力もあり、前回並みの同窓生一三〇名の参加を得ることができました。

南部幹事の開会宣言、そして、この二年間に亡くなられた物故会員への黙祷の後、総会、並びに懇親会に移りました。総会では、先ず野崎会長から「参加同窓生への感謝、今後に向けて、同窓生の所在フォローのむつかしさがあり、

今日参加の皆さんを通じての声掛けが特に重要、最近の母校後輩の活躍の記憶に残ることとして、吹奏楽部がウイーン・フィルハーモニー管弦楽団と共演し同窓生皆で感動したこと、母校初の同窓生校長の誕生の喜び、そして同窓生間への親睦を深め、微力ながらも母校への応援をしていきたい」との挨拶がありました。

総会議事では、活動報告、役員一部変更、伊藤隆吉副会長(昭和四十三年卒)、工藤章副幹事長(昭和四十七年卒)、長門展弘会計幹事(昭和六十三年卒)の選任、会計収支報告・監査報告がなされ、いずれも承認されました。

続いて、来賓の長門同窓会長から「現役高校生、並びに卒業同窓生の活躍、同窓会の現況、そして、五年後に迎える高校創立百周年記念への協力お願い」のお話がありました。八木校長先生からは、「学校概況、在校生の文武両面の進学、部活動の著しい活躍の様子、今年度から県初の全日・定時・通信の三つ併せ持つ高校としてスタートしたこと、同窓会への御礼」のご挨拶がありました。市からご出席いただいた同じく同窓生の佐藤副市長からは「市政、復興状況、今後の運営計画等多岐にわたる詳しいご説明、同窓生へのお願い・激励のお言葉」を頂戴いたしました。

その後、本校同窓会事務局次長の小成幸男先生(同窓生)の乾杯の音頭で、懇親会に移りました。同窓生の広場と題してのコーナーでは、三名の同窓生の方からスピーチをしていただきました。先ず、校長先生の立場を離れて、ラガーマン八木先生にご登壇いただき、ラグビーに纏わる話もとり、岩手国体時の選手強化責任者として携わり、県選手団が大躍進したこと、貴重なご経験からの学校運営の在り方等幅広いお話をいただきました。二番目の、昭和四十三年卒業・著述家の藤原和夫

さんは、「歌集 ひそやかな献杯」という著書が出版され、今年三月、浄土ヶ浜パークホテルで、宮古市合同出版祝賀会で代表挨拶をされました。著書に纏わる蘊蓄をお話していただきました。最後の、若手、平成十九年卒業の坂下千明さんは、プロダクション「サンミュージック」に所属し、「新鮮なたまご」の芸名で、お笑いライブを中心に活動しています。今年の正月テレビ番組に出演していたのを見た方もおられると思います。相方が居ないので、お笑いを離れ、同窓生として、異色のカラーで頑張っている様子を、お話ししていただきました。

今回は、特に八木校長先生がお見えになるという事で、ラグビーOB会のメンバーが多く出席し、一同ステージに上がり、気合の入ったユーモラスな楽しいひと時もありました。

会場内は多くの同窓生が行き来し、あちらこちらで会話の花が咲き、大いに盛り上がった中で、校歌を斉唱して、お開きとなりました。東京同窓会は、二年に一度の隔年開催で、今回は、新しい元号に変わって二年目の開催となります。

今年六月には、フェリーが就航し、来春には、宮古・釜石間の鉄道も復旧するなど新しいふるさと宮古が誕生していることと思えます。母校宮古高校、ふるさと宮古の、一層の発展を心からお祈りして、報告いたします。

今後とも同窓皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



宮古高等学校東京同窓会総会



今年度の教育実習生から



今年度から学部編成が変わりました。常に質の良い教育環境を目指している大学です。

③専攻紹介

皆さん、「チバニアン」をご存じでしょうか。私は、「チバニアン」で有名な教授がいる理学部理学科地球環境科学コースに所属しています。理学部は学科ではなく、コースで分かれています。私の所属コースの他にも、数学・情報数理コース、物理学コース、化学コース、生物科学コース、学際理学コースがあり、全六コースあります。学科の枠組みがないので、幅広い知識を学ぶことができる学部です。地球環境科学コースは大きく分けて地球惑星分野、地質岩鉱分野、地球物理学分野、水圏の四つに分類されます。私は地球物理学分野で気候学を勉強しています。このコースの特徴は、野外実習があることです。野外実習では北海道や富士山、草津などに行きます。実際に山に登り観測や観察をします。最終日の夜には打上げを経験できるコースです。

①川戸望里

②大学紹介一言

茨城大学は、人文社会科学部、教育学部、理学部、工学部、農学部、農学部、農学部、農学部、農学部の五つの学部があります。一年生は全員水戸キャンパスに通い、基礎科目を履修します。文理問わず様々な科目を学ぶことができます。基礎科目の中には「茨城学」があり、大学がある茨城県の特色を知ることができます。二年生からは工学部が日立キャンパス、農学部が阿見キャンパスに移動になり、専攻する内容をより深く学習します。一年前からクォーター制(四期学制)が始まり、授業が通常の半分の期間で完結する科目が増えました。この制度により、入学しやすい環境となりました。人文社会科学部は一年前、工学部は

④宮高生へのメッセージ
勉強と部活動、どちらも全力で取り組んでください。高校生は忙しいのですが、毎日コツコツ努力をしてください。これは私の後悔も入っています。毎日コツコツ努力した方が自分の力になります。今日は部活動で疲れたから勉強は明日やろう」と思っ



いせんか。明日勉強をすれば課題は終わるかもしれないが、実力はつきません。毎日やるのが大切なのです。分からなくなったとき、行き詰ったときは人に頼ってください。周囲の人は頑張る皆さんの味方です。今目標がある人もない人も、今を大切に、一生懸命に取り組み、頑張ってください。応援しています。

⑤母校への思い

まずはお忙しい中、今回の実習を受け入れていただいたこと感謝申し上げます。私は教職課程を履修してから、実習生として宮古高校に戻るのが心待ちにしています。二週間と短い間でしたが、母校で先生として皆さんと関わったことは貴重な経験となりました。宮高生は挨拶、メリハリのある行動、素直さなど感心する点がたくさんあり、刺激を受けました。実習で学んだことはこれからの人生に生きてくると思います。実習期間中は分からないことだらけの日でしたが、先生方の親切なご指導と二年B組をはじめとする生徒の皆さんのおかげで楽しく実習をすることができました。本当に、ありがとうございます。



①佐々木 滯

②大学一言紹介

國學院大学は、文学部、神道文学部、法学部、経済学部、人間開発学部の五つの学部があります。日本独自の学問を学ぶために作られた伝統のある大学であるため、日本屈指の図書館があることが有名です。加えて、神職を目指す学生のための神道文化学部があるのも特徴です。(全国で二つしかありません！)

③専攻内容

私は、文学部日本文学科の伝承文学専攻に所属しています。本学では一年次に日本文学、日本語学、伝承文学の基礎を学び、二年次で興味のあるものを専攻します。私は、もともと興味のある伝承文学を迷わず専攻しました。各地で伝承されている昔話や伝説、伝承行事などを研究するため、文献調査に限らず、伝承されている地域

に足を運んで調査をします。文学とはいえ、現地調査を実施することで新しい発見をすることができると、非常に面白い学問です。

④宮高生へのメッセージ

何事にも負けず嫌いであったください。勉強でも部活動でも、自分自身と向き合ってみてください。私は、高校時代、部活動に力を入れすぎて、受験生になった時にもっと勉強しておけばよかったと後悔しました。皆さんには、後悔しないように日々の積み重ねを大切にしてほしいです。いつもより十分だけ早く起きて勉強をしたり、自主練習をしたり、どんなことでもいいので習慣を作ってみてください。小さなことでも積み重ねることによって自信につながると思います。

⑤母校への思い

お忙しい中、今回の実習を受け入れていただきありがとうございます。三週間という短い期間でしたが、先生方のご指導のおかげでたくさん学ぶことができました。挨拶や授業時の態度、休み時間と授業時の切り替えにもメリハリがあり、宮古高校は素晴らしいと改めて感じました。自分が高校生の頃からそれらを意識していたので、卒業して五年経った今でも変わらずに受け継がれているので大変嬉しく思いました。この教育実習で学んだことはかけがえのないものばかりでした。授業で関わってくださったみなさん、柔道部のみなさん、その他関わってくださったみなさん本当にありがとうございました。

①三浦 花奈子
 ②大学一言紹介
 私の通う仙台大学は、「Sports for all」という教育理念のもと、体育学部は六学科で構成されています。体育・スポーツへのニーズに応える指導者を育てる『体育学



科』、地域の人々の健康づくりに貢献できる人材を育てる『健康福祉学科』、栄養分野を中心に食・栄養と運動・スポーツとの相互作用を学ぶ『運動栄養学科』、情報でスポーツを読み解くプロを育てる『スポーツ情報マスメディア学科』、武道教育現場の指導者や警護・警備のプロを育てる『現代武道学科』、幼児の教育・保育・体育の指導者を目指す『子ども運動教育学科』があります。トレーニングセンターや各種実習室も充実しています。

③専攻内容
 私は体育学部運動栄養学科に所属しています。この学科は、運動と栄養の二つを同時に学ぶことができる全国的に見てもユニークな学科です。取得できる主な資格としては、栄養士免許、保健体育科教員免許、健康運動指導士、ジュニアスポーツ指導士、アシスタントトレーナー、サプリメントアドバイザーなど四年間でたくさんの資格を取得することができます。

④宮高生へのメッセージ
 高校生活を全力で楽しんでほしいです。勉強が大変でつらいときもあると思いますが、高校生活が一番楽しいものです。仲間たちと毎日元気にふざけ合ったり、時には励まし合いながらお互いに成長して、たくさんのお互いに成長して、たくさんのお互いに成長していきってください。何をすることも全力で楽しむことが大事だと思います。悔しい思いをすることも、怒られることもすべていい思い出

になるし、人生にとってもプラスになります。たくさんの方に全力でチャレンジしてください。応援しています。
 ⑤母校への想い
 私が高校生の頃は、こうして教育実習生として宮古高校に戻ってこられるとは全く思っていませんでした。勉強に全くついて行けず、つらい思いもたくさんしましたが、今はそれを笑い話にできるくらいいい思い出です。今でも高校生に戻りたいと思うほど高校生活が楽しかったし、いい思い出ばかりです。宮古高校で共に過ごした仲間たちは一生の宝物です。



平成 29 年度 合格 状 況

(1) 国公立大学合格者数

学 校 名	人数
北見工業大学	1
北海道教育大学	6
室蘭工業大学	1
弘前大学	5
岩手大学	21
東北大学	3
秋田大学	2
山形大学	4
福島大学	3
茨城大学	1
宇都宮大学	1
群馬大学	1
千葉大学	1
静岡大学	1
高知大学	1
名寄市立大学	3
釧路公立大学	2
青森公立大学	3
岩手県立大学	16
宮城大学	1
高崎経済大学	1
新潟県立大学	2
長野大学	2
都留文科大学	1
福知山公立大学	1
島根県立大学	1
合計 (合格者総数)	85

(2) 私立大学合格者数

学 校 名	人数
岩手医科大学医学部	1
岩手医科大学薬学部	1
岩手医科大学看護学部	4
盛岡大学	14
岩手保健医療大学	3
東北学院大学	14
東北福祉大学	5
東北工業大学	11
東北医科薬科大学	3
尚綱学院大学	7
宮城学院女子大学	1
仙台大学	2
仙台白百合女子大学	2
石巻専修大学	2
秋田看護福祉大学	1
東北芸術工科大学	2
北里大学	1
帝京大学	1
昭和女子大学	1
東海大学	5
日本大学	4
中央大学	3
法政大学	1
立教大学	1
その他	48
合 計	138

(4) 短期大学合格者数

学 校 名	人数
国公立	23
私立	8
合 計	31

(5) 各種学校合格者数

学 校 名	人数
医療福祉系	6
看護系	26
その他	15
合 計	47

(6) 公務員合格者数

	人数
合格者数	7

(7) 短期大学合格者数

	人数
県外	1
県内	0
合 計	1

(3) 大学校・短期大学合格者数

学 校 名	人数
盛岡医療看護大学校	2
東北職業能力開発大学校	1
岩手県立産業技術短期大学校	2
合 計	5

大学進学・就職ともに厳しい状況でした。その中で、今年の卒業生たちも頑張り、数多くの卒業生が夢を掴みました。新しい環境に進んでも勇往邁進してくれることと思います。後輩諸君にも先輩に続くよう、一層の努力を期待します。



平成 30 年度 同窓会事務局

事務局長	C 長	小	成	幸	男	(S46 年卒)
事務副局長	D 務	須	藤	晃	司	(S59 年卒)
業務副局長	品	赤	沼	治	曉	(S60 年卒)
業務副局長	務	山	崎	真	子	(H 元 年卒)
業務副局長	務	中	屋	雄	知	(H 元 年卒)
業務副局長	務	近	谷	一	郎	(H 3 年卒)
業務副局長	務	松	葉	美	永	(H 3 年卒)
業務副局長	務	沢	田	奈	美	(H 5 年卒)
業務副局長	務	村	上	靖	龍	(H 6 年卒)
業務副局長	務	金	丸	弘	健	(H 7 年卒)
業務副局長	務	水	木	子	妃	(H 9 年卒)
業務副局長	務	高	橋	尊	也	(H13 年卒)
業務副局長	務	井	口	拓		(H20 年卒)
業務副局長	務	佐	藤			(H26 年卒)